

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の原子炉施設（STACY（定常臨界実験装置）施設）の変更に係る設計及び工事の計画の認可申請〔核計装（起動系）の計測範囲の表記の変更〕に係るヒアリング（2）

2. 日時：令和5年8月31日（木）14時55分～17時03分

3. 場所：原子力規制庁8階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

荒川安全管理調査官、加藤上席安全審査官、伊藤主任安全審査官、中澤安全審査官、澁谷安全審査専門職、三好技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

原子力科学研究部門 原子力科学研究所

臨界ホット試験技術部 次長 他4名

安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課

安全管理部 施設保安管理課 技術副主幹 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配布資料

資料1 STACY施設の変更に係る設計及び工事の計画の認可申請書〔核計装（起動系）の計測範囲の表記の変更〕

資料2 核計装（起動系）検出器の更新における既設検出器との同等性について

時間	自動文字起こし結果
0:00:11	規制庁中澤です。それでは、STACY の設工認、核計装起動系の計測範囲の変更について、前回からの変更点をまずご説明いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
0:00:27	はい。原子力機構のソノでございます。
0:00:30	本日は二部構成ということで、まず前半部分に核計装の件、ご説明いたします。資料は2種類作っております。
0:00:38	一つは審査会合用の資料、資料1、それから、それを補足する説明資料1ということで、
0:00:45	説明の方は、ズームになりますけれども、関の方から説明いたします。
0:00:53	関さんいいですか。
0:00:55	はい。
0:00:56	それではSTACY席の方からご説明させていただきます。
0:01:00	画面を共有しますが、よろしいですか。
0:01:06	はい、お願いします。
0:01:10	金山桐島下、資料1の方でご説明いたします。今お話がありましたけれども、前回ご説明しておりますので、変更点を、
0:01:21	を中心にお話したいと思っております。
0:01:24	ではまず1ページですけれども、経費及び概要ですけれども、津田の辺りにある、今回の設工認というのは、従来の原子力出力、原子炉の出力、
0:01:38	学校から中性子間の営業というものに変更するよう設工認を行うというものになってます。
0:01:46	もう一つ追加した部分が、主査津野山根のところ、衛生士の確実な運転再開に向けた、高経年化対策として、城戸家の見識を更新いたします。
0:01:58	この設工認申請書の一部補正ということで、記載を追加する予定をしております。1、2ページ開けていただきます。ページスペースは概要になります。
0:02:09	これ前回ご説明しておりますので、割愛させていただきます。
0:02:15	3ページですけれどもこれは武石の設備の内容をでして、こちら前回ご説明しているもので乾燥させていただきますけれども、次あるような形で、バケーションを配置するというものになっております。
0:02:29	山西ですけれども、ページのところの黄色の部分が今回追加したものになっておりまして、青々を赤で書いてあるところの一番最後のですね、及び検知器の更新に関するものであると。
0:02:45	ということで表記の変更に加えて、形式の更新に関するものということで追加しておりまして、ここについては一部補正に追加する予定でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:57	5 ページ、個別につきましては、これは特に変更ありません。設計条件として、従来のものを、から、表記の方法を変更するというようになっております。
0:03:10	6 ページですけれども、こちらの山根三つ目の山のところの黄色のマーカーのところが、追加した部分になっておりまして、先ほどからご説明しておりますけれども鬼頭系の検出器。
0:03:24	有田大東先生、丹の構成は従来のOK杵築等々農政のご決議の種類、計測範囲、系統数討議する。
0:03:35	そういうものに交換するものであるということになっております。この増設の意向についてはこれから説明させていただきます。
0:03:44	7 ページですけれどもこの 7 ページの計測範囲というのは、特に変更がございません。割愛させていただきます。
0:03:54	扱いですけれども、これは 1 ページ追加したものになっております。使用前事業者検査の項目及び方法ということで、今回
0:04:04	検証を交換するということがありますので、事業者検査を実施すると、その時の検査項目が一番非常に書いてあるところで、中段が真ん中のところにあるのが、
0:04:16	検査の方向にあります。
0:04:18	検査としては外観検査、検出器を外観に、企業上有害な傷のA及び変形がないことをもう一度確認すると。
0:04:27	それから設置検査、こちらは検出器の配置及び設備検査が適正であり、かつ、他の機器等と暗証及び異常な変形がないことを常に確認し、
0:04:38	それから適合性確認検査、設計の変更が生じた工事構築物等について、本申請書の設計及び工事方法に従って行われ、下記の技術基準規則。
0:04:50	への適合性が確認されていると、情報により確認すると、いうことで対象としましては計測設備等、安全上、こちらを計算いたします。
0:05:00	それから品質マネジメントシステム検査ということで、本申請書の設計及び工事 2 課図る品質マネジメントシステムに記載した原料関係上、原子炉施設及び核燃料物質使用施設等を、品質マネジメント計画書に従って工事及び、
0:05:16	経験された会話が行われていることを念頭に確認すると、こういった検査を予定しております。
0:05:23	それから次に建付機能系の地域のシートということで左側に
0:05:30	製造がこれを記載しております。
0:05:33	まず、現地を入手しましてそれから品証の検査ということで文献斜線になっているものが、検査となっております、現地の中でまず保管して、その都度構造等の検査で外観検査を行いまして、現地配置をチーム長は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:53	審判の中に入れるためにはこの形式は一応事務というものでまとめるんですけども、ここに収納すると、最後に、先生がそのあと構造等検査ということで、施設検査でこれ設計の関係になると。
0:06:06	最後にはこの申請に係る工事が発注書に従って行われたものであることの確認に係る検討ということでこういった検査を行って、しております。
0:06:18	それから技術主任規則との適合性ということで企業で追加した部分が、アキュームが追加した部分になっておりまして、第 6 条で言いますと、もともとはこの御申請。
0:06:33	このせ設計を変更するものないために該当しないというふうに記載したんですけども、ここに言い回し、本申請の内容は軌道系の計測範囲の表記の変更、及び同等の性能を有する形式での更新であり、その設計を変更するものになるため該当しないと。
0:06:52	いうもので、少しH、詳細化したというものです。他の条文につきましてもこのような記載をしているというところになっております。
0:07:01	11 ページの同じ形に変更しております。
0:07:07	12 ページも同様です。そういった芋を分割するというような、今、
0:07:14	13 ページでこちらも同じ同じような形で計算したというものです。
0:07:21	14 ページですけども、10 ページは前回ご説明しております第 30 条に関するもので、こういった
0:07:31	さわるということです。
0:07:33	割愛させていただきます。
0:07:36	15 ページ、それ、15 ページもですね申請書等別許可申請書と合わせて整合性ということで、こちらも
0:07:46	前回説明した通りでございます。15 ページ 16 ページのところは黄色山根のところ追加したところで、ここは先ほどからご説明している通り、
0:07:59	同等性の上の調整上統制のですね、お湯制度を有するものと評価されるということ、ここに追記しております。13 を、
0:08:10	17 ページ、こちらも前回ご説明した通りで割愛させていただきます。
0:08:19	18 ページですけども、こちらは品質保証に係る原子炉設置許可申請書との整合性と、ということで、これは追加した資料になっております。
0:08:30	ちょっと読ませていただきますと原子力施設の保安のための業務に係る品質管理、必要な体制の基準に関する規則。
0:08:39	への適合性結合に関しては、原子炉設置許可申請書、これに記載した品質管理計画を受け、州中間基準規則に適合するように策定した原子力科学研究所を、原子炉施設及び、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:57	明確にそれぞれ使用施設等を、品質マネジメント計画書を、により、設計及び工事の品質管理を行うとともに、下に示す通り設計工事及び検査の段階に係る損失を管理すると。
0:09:11	ということで、左の枠のところですね青で書いてあるところ、ここについては、業務の計画実施処理これ設計開発のことが記載されております。
0:09:21	その中に、ちょっと見にくいんですけども委員会の方と試験、技術部、これの設計管理運営というものがあまして、この中で設計開発のことが決められていると。
0:09:34	それに従って右側のオレンジのところになりますけれども、この管理要領のところでは設計工事及び経験者の定着っていうのを決めまして、いろんなJAEAというところですね、このこのようなフローでやっていくと。
0:09:50	いうところになっております。上の方から設計開発、管理計画を作成すると、そのあと設計開発、要求の日。
0:10:00	先生評価、それから詳細設計箇所の確認で調達製品の発注をしまして、契約高を調達製品の納入。
0:10:10	そのあと、設計、それから通常系統設計開発結果の開始、それから、設工認申請、設計開発の検証をした後期、これは原子力を考えます。
0:10:22	設備の妥当性確認使用前事業者検査等です、それでそれを産業という町と、課長釜田です。
0:10:33	19 ページですけども、ここからがですね更新後のソノ1、血液の同等性というところの説明になります。
0:10:44	4 日広域で、更新前後の月の使用と、施行に一切事項である月の種類、計測アンケート数は赤字になります。
0:10:54	なお、詳細資料については一部数等及び財産を行うものを、工認記載の精査に営業チーム前。
0:11:03	で、評価法項目で項目の四番の一井さん、こちらにつきましては市としましては、出向に申請書の記載事項の、
0:11:14	やりまして、更新前後で特に変わりがないと、いうところになっております。
0:11:20	横谷のところ、先方になっておましてこれは以前もちょっと説明しているかもしれませんが、若干、そこは違っておりますけども、ほぼ同じようなものになっているというところ。
0:11:34	それから、両方の在中というところも、一部材質が違ったり電話とかサービスは若干違ってるところはありますけども、同じようになっているというところになっております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:45	20 ページですけれども、20 ページは更新前後の検出器の計測範囲ということで、放射線量の低減出現中性子を検出した際のパンサーバ、これをそれぞれ測定しまして、同等の計測性能を有しているということを確認したというものになっています。
0:12:04	更新前の形式ファイルサーバ、これが 3.2 マイクロチェックに対し、更新後の検出器におけるファイルサーバは 3.4 マイクロチェック。
0:12:15	行ってみましてその性能でありまして、格子本っていうのをやりますと通して 2.94 × 10 の補助を、バス運転手の阿比留というところから、
0:12:30	一つの計測範囲、1 から各事業の譲受スペースを満足すると、いうことを発表しております。
0:12:38	左側が更新後のものになっておりまして、浜名 35 万になっていて、右側が更新前の適切なものになっておりますけども、このところは 3.21 枚チェック。
0:12:55	ほぼ同じ幅が、
0:13:01	湖東信金については以上になりまして、次にですね補足説明資料の方、ご説明させていただきたいんですけども、このままでよろしいですか。
0:13:12	竹岡。
0:13:14	引き続きお願いします。
0:13:17	公開しました。要は、
0:13:21	説明資料 1 ということで、まず同等性のお話です。今ご説明した内容と同じようなところがありますのでちょっと割愛させていただきながら説明したいと思います。
0:13:35	まず概要としましては同等性を示すと、こういうものです。
0:13:39	2 ポツで方針スルー形式の同等性ということで、先ほど示した表と同じような形になってますし、紹介していると。
0:13:50	ということでまず、検知器の種類としまして PT の事例件数間でこの信号につきましてはこういうものだというのでちょっと形をここに入れております。
0:14:01	それから計測範囲珪長質これ先ほどご説明したと思うんですね。それから麻生リポートを最初こちらについても同じになっております。
0:14:09	2 ページ目に行きますと、2 ページ目の方は、これは更新後の、
0:14:15	大野圏域のカタログの抜粋になっておりまして、赤で、
0:14:20	点線枠でなってるところが、これは更新後の仕様になっております。
0:14:26	今回は先ほど表の方には、
0:14:30	現実に現場はなっちゃいます。
0:14:33	その下の方ですけれども工事がありまして、その下には恒設に対する表があります。そういう方がこのような形でなってるということで、
0:14:45	ゼンショーとしましては 395%140 ぐらい試運を含めたものであったり、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:52	次の4ページ、第三部にですね、3ページのところは、更新後の次の継続排除ということで、先ほどご説明しましたけれども、
0:15:05	ハザードを特定しまして、どの程度表、測定できるかっていうのを評価したと、いうことになっております。更新前後でほぼ同じ、同じような整合があるということを確認したというものになっております。
0:15:21	図2が更新後のもので、河津さんがシューマイ主になっていくというところでした。
0:15:28	4ページ目の2.3ですね、工藤建設の管理課に伴う上げ落としの影響ということで今後の事業計画軽装では、2.2項で示した通り1から $2 \times 10^{-5}$ 乗申請書まで測定が可能であり、
0:15:46	設工認の設計仕様要求事項にある計測範囲を満足しております。このとき計数率11本1ヶ月予算の本庄取水場、これでは条件付きの管理課案状態に伴う風落としが多くなるものの、
0:16:03	応答、当該定数率領域を、設計出力系の結束案として終わらせることにより修正色を取り外すことができます。
0:16:16	このため、瀬瀬李通内の新のエース率を昨日受けて式により精密に超過することは別表であります。
0:16:26	以上の通り一条建築の設立領域では、武智が窒息せずに、中性子束の増減状態を把握し、運転規制引き受けと相まって、原子炉の中性子束を連続的に移管すること。
0:16:42	報告でした。この3時間というものはありますけれどもこの起動系というもので生物に測定するものではなく、この後、同行しけ高出力になるにつれて、
0:16:56	先生がこういう講習を行うとその運転系の方の算層が、主事を特定するということで、目的に感知できるというものがあって、
0:17:08	次が別添1というような資料なんですけども、これはどういった形で出力とる。
0:17:15	浅羽線を計測したかという資料になってみます。
0:17:20	上の方はそういった話がありまして更新する現実とそれから技術の検知器のご使用がを引いてます。
0:17:30	本件には原価計画ません事をそれぞれ確認というもの、それから人検査のところではどういった中性子を使ったかっていうところで、抽選資源、これ起動用中性子減なんですけども。
0:17:43	接種を動かすための、いろいろ修正資源がありますのでそれを聞いたというものです。
0:17:50	2.4のところでは試験珪藻を言いますけれども、図をさせていただきますと、左の方に中性子減というのがまずあることによって抽選支援、この資格認定権つきを持っていきます。浮きまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:04	この中心というところも出てくる、中性子を件数したというものです。
0:18:10	デンソー福地とそれから中等空気個別企業というところがありまして、一番右側には城戸家の別紙 1 が、
0:18:21	この終了空気伊井浜口というところに、仕事をつなげましてそこで、丸様を想定した方にもなっており、
0:18:32	試験点としましては、
0:18:35	まず中性子減の近くにつき方と、そのあと中性子検出に伴う水素が含まれる当初想定継続して、主幹さんを報告したというものになってます。
0:18:50	違う資料が設定 2 ということで、核計装設備の配置及び計測範囲についてというものになっております。
0:19:01	A2 本のところですけども、こちらは計装設備の位置及び計測範囲としまして精製の各設備は自動経理系統間連携連系中ケイリケイ尊重経済抽出系に行けと。
0:19:16	安全設計の結果は整理しております。大研医器の一応 II 4 ということで先ほど概要資料の方にあった事例と同じものになっておりますけども、
0:19:27	それぞれから 8 ページの設備の計測範囲の坪井ということこれもお示したになっております。
0:19:34	基本形それから運転経費余計これの検出器は、進行性機能の中性子束分布に応じて、炉心タンク内の配置を変更することを前提としております。
0:19:45	の方針を構成する時は、信頼中性子束分布等、各発生層の継続範囲を訪問して、条件及び運転研修制の、
0:19:57	地方の中核ライン適切に配置しまして、議論検討を、専決要件並びに、運転休憩所安全出力計の計測範囲を包絡させることにより、中欠測を連続的にとっていただきます。
0:20:11	このスキーム条件つき建設も、これは原子炉起動時の低い出力内において、中性子束を、
0:20:23	後ろにある A より上位の出力位置では、研修系のアクションを焦げ付きが 3 万 1000 円保障型。
0:20:33	変化がございますけども、並びにの終点上に予定されている安全設計、これも安全保障型の方になります。これによりウェブを継続するというものになっております。
0:20:48	ページ 14 が 1 になっておりまして炉心タンクの周りには、01003 ということで地上系と、それから連携、連携研究の歳出規模。
0:20:59	左側の方になりますけれども、現状の方ですね、先生のところには編集権を配置するというものになっております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:21:08	その次の 15 ですけどもこれもこれまでご説明したものですけれども、このような形で、政府に対して娛樂させさせながら中性子を完成するというものです。
0:21:23	はい。説明としては以上でございます。
0:21:28	はい。規制庁の小沢です。ご説明ありがとうございます。それでは、規制庁側からの質疑に移りたいと思います。
0:21:42	規制庁中澤です。まずそもそも網のところでちょっと教えていただきたいんですけども、今回の計測範囲を変更されるということで、上限値を $2 \times 10^{-5}$ 乗 CPS に、等はしているんですけども。
0:21:59	これには何か理由があるんでしょうか。
0:22:08	関さん私から答えます原子力機構、井田です。はい。そもそももうのことを話になりまして確かにこの経緯がちょっとややこしい話です。
0:22:18	そもそもから言いますと私ども、設工認の検出器を変更する際に設工認を不要ということで、
0:22:28	行政相談をかけました。はい。その時に設工認の中身よりですね、まず、
0:22:36	許可書と設工認の申請書に軌道系の計測範囲がWhatで書いてあるということが問題になりまして、
0:22:46	つまり、軌道形で、
0:22:49	熱出力を測っているように読めるわけでございますわっと測るって書いてますわっと計測するように読めると。
0:22:56	もともとについてはこのあたりで使いますという意味であって、軌道系でワットはかるわけではございませんと。軌道系で測っているのはカウントでございます。ご説明を差し上げてそこに写真がございますけれども。
0:23:10	ワットの範囲でカウントを図っているんですというご説明をいたしました。ただ、それはちょっとわかりにくいと、誤解を受ける友岡飯尾層生ずる。
0:23:22	ワットをはかるようにしか読めないということでここは直すようにと、案をご指示ちょうだいいたしまして、私どもといたしまして、CPSで書き直しますとその表記を変えますという、申請を出しますと約束して、
0:23:39	その約束通り表記を変えますと、現物の、実際カウントしている値に合わせた表記に直しますというのが、今回の設工認申請でございます。
0:23:52	で、その上限に関しましてはもともとそこに、ダイヤルの右端ですね、 $22 \times 10^{-5}$ 乗と書いてあります通り、従来通り測っていたものでございます。
0:24:05	従って現状に記載の分を合わせるということで $2 \times 10^{-5}$ 乗ということを、申請に入れております。背景といたしましては以上のような、
0:24:20	規制庁ナカザワです。ありがとうございます。すみません確認なんですけれども、1 ページ目、概要説明資料の 1 ページ目にあるメーターの針は $2 \times 10^{-5}$ 乗まで。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:34	あるので、今回の申請で、
0:24:37	即継続範囲の上限を $2 \times 10^{-5}$ 乗にしたということによろしいですか。
0:24:44	はい。おっしゃる通りです。現在持っているものに合わせた記載にするということでございます。
0:24:56	規制庁中沢です。ぜひ、すみませんちょっと関連してなんですけれども。
0:25:02	中生試験スキーのカタログか何かを見るとですね $2 \times 10^{-5}$ 乗を図れる。
0:25:10	とは書いていないような状態です。
0:25:13	補足説明資料のほうで説明していただけてますが、軽水、律令期では数え落としが多くなっていて、
0:25:27	何て言うんですかね、中性子束をちゃんと図れているのかどうかというのがちょっと疑問になってしまうんですけれども。
0:25:36	へえ。
0:25:39	はい。原子力機構伊田です。これはちょっと少々誤解が発生したかなと思えるんですけれども、 $2 \times 10^{-5}$ 乗というのはある中性子束のところに来たときに、最大 $2 \times 10^{-50}$ カウントできると。
0:25:54	いうことをございまして、実態の値に対して幾つかということではございけません。従ってこの設工認で求めているのは $2 \times 10^{-5}$ 乗までちゃんとカウントできる。つまり、
0:26:07	時間の分解能が、それなりにちゃんとカウントできるというところを、私どもとしては、ご説明差し上げてつもりです。
0:26:16	現物、何か、炉心でもちゅう中性子元でもいいんですけれども、炉心とかが $2 \times 10^{-5}$ 乗の中性子を発して、それを各計装が $2 \times 15$ 乗と測るといった意味ではございけません。
0:26:32	何らかの激しく中性子を出している訴えがあつて核計装それに近く出たときに、 $2 \times 10^{-50}$ カウントまではちゃんとカウントできるというのが、性能でございます。
0:26:46	現状機構のソノです。もう少し定量的に申し上げます。
0:26:53	と補足説明資料をですね、こちらの3ページをご覧くださいなんですけれども。
0:27:00	確かに主出力パルスの8Kというか間隔を見るとですね。
0:27:07	更新前が3.2マイクロsec、それに対して講師が3.4マイクロsecということで、若干、
0:27:15	パルスの間隔が長いというのがわかっているんですけれども。
0:27:21	その時に今どれぐらい系譜、カウントできるかっていうのが、2.2の文章として書いてございます。
0:27:29	で、更新後の上から3行目ですけれども、
0:27:33	更新後のパルサー幅は3.4マイクロsec。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:36	これを逆数とりますと、
0:27:39	$2 \times A2.94 \times 10^{-5}$ 乗パルス。
0:27:44	毎秒 1 秒間それまではカウントできると。
0:27:47	いうふう、数え落としがなく、カウントできるというものです。
0:27:52	すいません。各労働者がなくていいので、この方係数率が下降私は当然できず、 れるんですけど、それから別に $2 \times 10^{-50}$ まではきちんとカウントできますとい うことでございます。
0:28:05	失礼しましたそうです数え落とすというのは、このパルスのは形が出てきたとき に、同時に別のパスが入ってきたときにはカウントしないってのが数え落としにな りますので、すいません、私の説明が間違ってますけれども。
0:28:21	そういう意味でこのパルスの感覚。
0:28:25	から逆算するとですね、 $2.94 \times 10^{-5}$ 乗パルス。
0:28:31	1 秒間に $2.9 \times 10^{-5}$ 乗パルスは、は形として見れるという意味でありまして、
0:28:41	それは既設の計測範囲である $2 \times 10^{-5}$ 乗よりも大きいということで、数え落とし はありますけれども、
0:28:52	2 万cpmで見かける中、20 万CPS。
0:28:56	までは十分計測できるという性能を有しているという説明でございます。
0:29:04	布施書記小枝です。すいませんあと一つ補足させていただきますと、先ほどお話 の冒頭に、検出機能スペックに $2 \times 10^{-50}$ までカウントできるということが書いて いないとおっしゃいました。それはちょっと
0:29:19	いわば答弁でございまして、 $2 \times 10^{-5}$ 乗をカウントするというのは、検出器、カン ドクの性能ではなくって、核計装システム全体の性能でございます。
0:29:31	で、その核計装システムの全体の性能の中で、検出器というのは、この数えるところ にパルスをひたすら出すと、9 ページが来たらパルスを出す。
0:29:42	いうことでございます。従って、現行の検出器と同じぐらいが鋭くといいますか、3 時間の間隔で時間分解のある間隔でパルスを出す、検出器をつければ、
0:29:56	核計装システム全体としてカウントできるということでございます。はい。従って、こ のようにバルクの幅を比べて、同じように計測できますというご説明を差し上げて る次第でございます。
0:30:10	以上です。
0:30:11	何か規制庁シブヤですけども、5 ページに回路図が載ってますけれども、
0:30:18	20 万CPS値は、この回路図の最後のカウンターのところ軌道系計数率計等、評 定の最大値を言っていて、それは、
0:30:29	数え落とし補正はしていない。生の値でその最大値が 20 万CPS。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:35	それはどちらの譴責についても同じだったと考えられると、そういうことでよろしいです。
0:30:42	はい、原子力機構江田です。はいご理解の通りです。
0:30:51	もう1点ちょっとその確認したい。
0:30:54	もう、
0:30:57	それ、
0:30:58	軌道系全体として2掛け10の五条まで数えられる。
0:31:04	いうのは、
0:31:06	そういう意味での、
0:31:11	なってるっていうことであると。
0:31:13	いわゆる、
0:31:14	今回調べたのは、もうこれ優秀増幅器の。
0:31:19	アウトである。配布幅を見て、
0:31:22	これが3マイクロ程度だから、
0:31:26	見かけ16条は、
0:31:29	もう、
0:31:30	狭い狭いので大丈夫だっていうそういう、
0:31:35	データを出して、
0:31:36	いただいたら、
0:31:38	だけど、
0:31:39	このパルスが習俗からパルスが出た後に、当然そこカウンターが数えるわけで、
0:31:48	そのあとのそのカウンターとして数えるときの処理として、
0:31:53	ある時間が取られると思うので、いわゆる本当に直接的にはです。
0:32:00	この2、メインアップのパルスのデータだけでは、
0:32:06	名がついているのかっていう。
0:32:09	ちょっとその部分の疑問がちょっと残るんですけど。
0:32:14	どうなんですかね、この同等性っていう観点ではですね、そのあとの件につき、
0:32:20	シュウゾウ時の後の回路系は同じものを使ってる。
0:32:25	検出器の同等性はこの明暗の、
0:32:28	努力を見れば、報告があったという。
0:32:32	今、議論になってる2ヶ月の中の五条というものをカウントできるかどうかと。
0:32:39	いうことをチェックする。
0:32:41	ためには、
0:32:42	県、この今出てるメインの、
0:32:46	パルスの後の処理の仕方で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:49	そこは変わってくる可能性があるんじゃないかと。
0:32:54	その辺はどう考えられてる。
0:32:58	はい。原子力機構井田です。まずこの $2 \times 10^{-5}$ 乗といいますのは冒頭申し上げました通り、現物に合わせて表記を変えると。
0:33:09	ていうことでございまして、私ども、性能に関する申請は今回差し上げているつもりはございません。あくまで、熱出力の範囲が許可に書いてあったのが、誤解を招くということで商機を変えるということでございまして、
0:33:27	$2 \times 10^{-5}$ 乗必ず出るのかという性能に関して、申請は差し上げておりません。これは既申請、すでに認可されている旧ステージの、
0:33:38	軌道系の性能として
0:33:42	担保されてパーンとされているといいますか、もうすでに認可を、結構足を検査も終わったものと考えております。それとは別に、実力で言いますと先ほどおっしゃられた通り首藤付近より自動景観をカウントする部分の回路に関しましては、
0:34:00	$2 \times 10^{-5}$ 乗以上ちゃんとカウントできるというのは旧STACYの、運転において、確認されてございまして、実際そういうデータがございまして、
0:34:11	本当何も変わっておりませんので数えられるかということに関しては議論、疑問のないところだと考えております。
0:34:19	以上です。
0:34:21	規制庁の三吉です。今ちょっと説明の中で、すでにその日、
0:34:26	今日何、市民がですね来認可の段階で、2 掛け 10 の五条まで測れてると。
0:34:33	いうことは、データとしてあるって言われましたけど。
0:34:36	私はそれを見せていただければ、
0:34:40	実際にそういうデータがあるのであれば、先ほどカタログ値では 2 ヶ月の部長ってのが読めない。
0:34:47	いうことがありましたけど、
0:34:49	そのデータがあれば、
0:34:51	いわゆる
0:34:53	時期はともかくですね。
0:34:55	216 条っていうことが、今回、
0:34:58	表記を変えるわけですけど、そこで確認、
0:35:03	直接的に確認できると思う。
0:35:06	それを出していただくってことは、
0:35:09	はい。原子力機構伊田です。はい。データかなり古いデータになりますが、残っておりますのでお出しすることは可能であると考えます。
0:35:21	そう。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:23	いわゆる
0:35:24	データっていうかその実証としてはそのデータがあれば、
0:35:28	見かけ上の 50 万、逆に言うとそこそういうデータがあるということで、
0:35:33	それに合わせた形で、
0:35:36	CDS単位に変えるということなんで、うん。
0:35:40	問題はクリアになるんじゃないかと。
0:35:45	あ、あ、原子力もそうですが、実際これ運転するときに、
0:35:53	昔の製紙で運転していた時に使っていた時のデータがあるということなんですけれども、その時に先ほどオーバーラップという話をしました。当然原子炉を運転するときの軌道系の領域を超えて、
0:36:06	それで原子炉を運転しますので、液時計の出力が計数率がずっと上がって行って、 $2 \times 10^{-5}$ 乗CPSを振り切れて、
0:36:17	それで、運転経営体数、運転系出力系の方の、
0:36:25	パターンになるので、その 2 点、 $2 \times 10^{-5}$ 乗CPSを振り切れているというデータがあれば、
0:36:33	それを新聞すればいいということでしょうか。
0:36:37	いや、今ちょっとそのオーバーラップの話の前に、
0:36:41	の議論をしてたんですよ。伊澤さん。
0:36:44	今の説明は、
0:36:46	運転系とオーバーラップするってのは
0:36:49	どうなの。
0:36:50	ようなわけですけど、その前に、
0:36:53	2ヶ月の五条CPSまでと、1 から、
0:36:57	変えるという、今回のその表記の、
0:37:01	記載がいいかどうかという点について、
0:37:04	入力中の向上というのは確かにこのメーターには書いてあるけども、
0:37:09	カタログとしては、
0:37:11	そういう数字が出てない。
0:37:14	それはそういうふうに、こちらは認識してるんです。
0:37:18	これは、
0:37:19	それで間違いないですか。
0:37:21	だからこれカタログ値としてねかけ中の部長とかこういう計測社員ですから。
0:37:26	あれば、特にそこに、そこでいろいろ、
0:37:30	確認することはないんですけど。
0:37:32	旧検出器について、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:35	この2×10の工場じゃなくて、
0:37:40	もうちょっと狭かった。
0:37:42	例えば2ヶ月10-5乗まで測れるっていうカタログがなかったんで、
0:37:46	今、
0:37:48	どうだろう。
0:37:49	同等であるっていう、もしあればね、同等である。
0:37:52	こういうことが、
0:37:58	何か確認できればいいんですけどそれがなかったので、今回CPSで上限12ヶ月の五条と書くわけですから、
0:38:06	そこはどういうふうに確認です。
0:38:11	後の運転系とのオーバーラップはちょっとまた別の、
0:38:15	あと、
0:38:16	まず、
0:38:17	今回直す標記の上限値の2ヶ月の部長っていうのは、
0:38:22	たとしてもさ三澤さんが言われるようにあれば、それを出していただければ、
0:38:30	それは、
0:38:31	どうぞ。
0:38:33	はい。原子炉聞こえたんですが、先ほど申し上げた通り2×10-5乗を超えて、カウントして、きちんとのカウントが出るというのを確認したデータ、確かあると聞いておりますので。はい。そのようなデータをお示しすることは可能でございます。
0:38:49	わかりました。まずそれをちょっと只野だし、どの場で出すか。
0:38:56	要するに今回あの、
0:38:57	ALPSの幅で、もう
0:39:01	幅として品質的の同等性についての議論はこれで、ほぼ、
0:39:06	いいかなと思ってるんですけど。
0:39:08	今回、その変更の、
0:39:11	軌道系、
0:39:13	システムとしての上限値を、
0:39:16	見かけ上の苦情というふうに、CPS単位に直すので、そこが、データなり、何か考え方で、
0:39:25	もらう必要があるんじゃないかと。
0:39:28	いう。
0:39:30	はい。丹下広木小枝です。ちょっと建前といいますかきちんと振替させていただきますと、今回の私どもの申請は表記の変更であって性能に関しては一切、新ページは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:44	立ち上げていないんですけどもそれとは別にですね、実力としてきちんと測定できるというのは、過去の測定データがございますので、それに関しましては、どう伸ばせdご提示するかは別としてご提示いたします。
0:40:02	その点をよろしく願います。
0:40:04	表記の問題だと言われても結局どういう表記にするってのはっと単位にするのか、CPS単位にするのか、当然そこには整合性がとれてなきゃいけないわけですけど、計算の仕方の、
0:40:18	方法としても、細かく言えば変わってくる場合もあるんで。
0:40:23	今回、2ヶ月分の補助っていうのは上限値とすると。
0:40:27	いうことであればそれに対応した
0:40:31	データのエビデンスが、
0:40:33	重要じゃないかという。
0:40:35	そのことを申し上げて、
0:40:37	対応いただければ。
0:40:40	はい。原子力機構江田です。はい。きちんと $2 \times 10^{-5}$ 乗のメモリまで、過去、旧ステージで測定したことがあるというデータをお示したいと思います。
0:41:05	そのイメージですけどあと1点ちょっと。
0:41:07	はい。
0:41:09	あれなんですけど、この補足説明資料に、
0:41:12	法律6、
0:41:14	病院ですか、なんかそういう言葉が出てきて、
0:41:19	大体1算の4乗とか、そのぐらいが条件としては、
0:41:25	実は高いんだ。
0:41:29	それ以降、
0:41:34	以上、以上では、
0:41:45	ある程度以上っていうふうに、
0:41:51	今、目安にしてる。
0:41:53	Tpfl多くなった。
0:41:57	それから、4ページ。
0:42:15	すいません、今ひとつ聞こえにくかったところがあって、公開したかもしれませんがけれども、瀬瀬李通領域キーで結論、はい。
0:42:26	小橋ないところ。
0:42:28	表現が、
0:42:31	4ページ。
0:42:35	あ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:42:37	そうですか。
0:43:05	はい、以上。はい。
0:43:08	後、建築合計領域では建設、谷内布施分。
0:43:14	これは、
0:43:16	後継者通りってのは大体、
0:43:18	1万cpmぐらいのところを、
0:43:21	念頭に置いて、
0:43:26	はい、広木小岩です。ここで書いてあるのは、そうですね軌道系としては概ね高くなってきたなというところでございます。
0:43:42	はい、わかりました。
0:44:22	規制庁の片田です。続いてですね。
0:44:27	軌道系統、運転する形でオーバーラップし、すること運転中形で計測範囲をオーバーラップすることによって、
0:44:39	連続的に中性子束を継続するというご説明になっておりますけれども。
0:44:46	変更後んなるとですね、軌道系がCPSで、
0:44:50	運転手付近が真っ当というふうに単位が違ってきてしまっていて、
0:44:56	何というんでしょうかね、CPSと後で何か対応関係とか対応式みたいなもので、
0:45:06	ないんでしょうか。
0:45:09	はい。原子炉機構伊田です。はい結論から申し上げる等ございません。それは炉心の、
0:45:17	もうどれくらい近くに軌道系検出器を置くかによって、簡単に変わってきてしまうものでして、逆に言いますとそうやって調整しながら、調整することによってちゃんとオーバーラップできるということでございまして、
0:45:32	対応と申しますと旧申請の時に大体この辺りで示した後、今の申請でも、
0:45:40	ある程度オーバーラップさせて、ありますけれども、はい。この辺りですということをお示しすることはできますけれども厳密な対応はございません。
0:45:56	規制庁の赤沢です。今置き場所によって変わり得るというお話をいただきましたけれども、
0:46:03	配置によってはオーバーラップしない可能性もあるんですか。
0:46:08	はい。原子炉機構井田です。もちろんでございます基本的に炉心から。
0:46:15	検出器を避けると炉心等検出器内に水が入って中性子を吸収してしまいますのであんまり話してしまいますと、
0:46:24	そもそもカウントしなくなってしまう。極端ですけどもそんな配置をしたとしたら、対応も何もなくなってしまうので、おっしゃる通り、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:33	対応しない、オーバーラップしないようなことも、そういうことをやろうと思えば可能でございます。
0:46:44	副所長の三好ですけどちょっとそういう説明されるとちょっと不安になる人は、そうですね。はい。失礼します。
0:46:51	要するに、移動系と、運転系がオーバーラップするように、
0:46:57	右にそれぞれ配置をして運転。
0:47:00	はい。その通りでございますのでですから、それで、
0:47:04	正確に今ちょっと質問にあったように、イトウ系が今回CPS運転機がWACなので、
0:47:11	必ずしもその、
0:47:14	通ってない。
0:47:16	場所によって、
0:47:18	変化し得る。
0:47:20	例えばですね
0:47:24	例えば定期検査で、
0:47:26	9番、溶液系。
0:47:29	様形でもいいと思うんですけど、定期検査で、
0:47:33	集落構成。
0:47:35	する。
0:47:36	してると思うんですけども、例えばそういう運転でですね。
0:47:41	そうしますと、当然、
0:47:44	それを構成してるような両親なので、運転系が例えば200ワットのときに、
0:47:50	いくつかと幾つを指してるか。
0:47:54	或いは、その運転の途中で移動系が生きてる時時点で、移動系が、何かウントで、
0:48:03	運転系が、
0:48:05	その何ワットだと、その構成に基づけばですね。
0:48:09	ていう、このような形で、そのエビデンスとしてそういうデータが、
0:48:14	あるんじゃないかな、出せるんじゃないかなと思うんですけど。
0:48:18	その辺はいかがです。
0:48:21	結局、当然はい。
0:48:24	運転。
0:48:26	運転のあれとして保安規定に基づいて、
0:48:29	場所はセット。
0:48:31	して、オーバーラップがないってことはないようにするわけですけど、逆に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:38	この場所じゃなくちゃいけないってことじゃなくてある程度幅がある。
0:48:41	いうわけでそういうものを、経験的にも、
0:48:44	理論的に結んで設置をしていると思うんですけども。
0:48:48	そういう提言老人が何かで、
0:48:52	そういう、今のそのオーバーラップがちゃんとある炉心配置っていうのは、検出器の配置が、
0:48:59	成立しますと。
0:49:01	というようなデータを、
0:49:04	参考データとして出していただけると、今の議論というのは
0:49:08	茅野クリアになるんじゃないかと。
0:49:11	その辺はいかがでしょう。
0:49:14	はい。原子力機構の井沢です。はい。それは可能であると考えます。二つございましてまず、行政相談をお願いしていた時も以前でございますけれども、
0:49:27	その時に甲斐関井を持ちまして、新しい炉心でこのようにオーバーラップさせることが可能でありますというご説明を差し上げておりますので、もう一度お出しすることができます。
0:49:39	それから過去のステージ、旧STACYでよろしければ実際にオーバーラップして運転しているという運転データもちろんございますので、新旧にしても揺れもお示しできるかなと思います。
0:49:54	規制庁渋谷ですけども、そのデータを出しただけのときに、このパターンだと、先ほどのCPSワットの換算係数はその時は決まると思うんですけども、こん時はこれぐらいあったよっていう辺りを示していただく。
0:50:07	いければと思いますのでよろしくお願いいたします。
0:50:10	はい。原子炉機構江田です。承知いたしました。CPSわつとこの場合このように重なりますというデータをお見せできると思います
0:50:41	規制庁中田です。
0:50:48	先ほど申し上げた、谷川桐生事務長は、五条まではかれると。
0:50:54	ここのデータですかね。それとですね、
0:50:59	先ほどシブヤカフェイン、宮下塩谷からありました通り
0:51:04	運転系統軌道系の対応関係がわかるような資料、量を出していただければと思います。
0:51:13	あと他に規制庁側から確認しておく点ございますでしょうか。
0:51:23	規制庁の荒川です。ちょっと繰り返しになっちゃうかもしれないんですけど、もう1回ちゃんと確認したいんですけども。
0:51:30	2×10 <sup>-5</sup> 乗CPSっていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:34	この根拠っていうのは、
0:51:36	注記に書いてあるのは $2 \times 10^{-5}$ 乗だから、
0:51:40	それをそのまま持ってきました。そういうことでよろしかったですよね。
0:51:46	はい。原子力機構飛田です。はい、おっしゃる通りです元現物といいますか実物に合わせるということが趣旨でございましたので、実際に、現行の核計装の、
0:51:59	能力である $2 \times 10^{-5}$ 乗という記載をお持ちいたしました。
0:52:04	はいありがとうございます。もう一つなんですけど、過去計りましたっていうデータを見せてくださいという話があったんですけども。
0:52:13	これ、
0:52:15	検出器自体は更新がされるわけですよね。
0:52:19	僕ちょっとわかんなかったです。なんで過去のデータを見て、検出器更新するのに、それで良しとするのかなってのがちょっとわからなかったんですけど。
0:52:30	これをちょっとご解説いただけますか。
0:52:34	はい。原子力機構湯田です。先ほど三好参与とお話させていただいた、私の理解では、まずSTACYの核計装というシステムがございまして、
0:52:48	その検出器を今度更新するということでございます。 $2 \times 10^{-5}$ 乗というのは核計装システム全体の性能でございまして、
0:52:57	検出器というのは、きちんとした、離岸分解のなる鋭いパルスを出すということだけが役割でございます。そしてほぼ今回の資料をちょっと今図に写っておりますけれども。
0:53:10	同等のパルスを出すということを確認いただく、ご説明差し上げております。同等のパルスを出すものが、
0:53:22	つけばステージの核計装全体としては $2 \times 10^{-5}$ 乗をカウントできますということでございます。そして、 $2 \times 10^{-50}$ カウントできるというのはそのデータがある。
0:53:36	いうことございまして過去、同等の検出器がついた状態で $2 \times 10^{-5}$ 乗をカウントしているということをご説明すると、検出器のDASパルスがほぼ同じであるということと合わせると、新しいSTACYに関しましても $2 \times 10^{-5}$ 乗のカウントができる。
0:53:53	ということになるかと思えます。以上です。
0:53:58	ありがとうございました。
0:54:00	そもそもなんですけど、このパルスを見ているのは何となくわかるんですけども、これ、新しくそのキャノンのデバイスを買ってくるということだと思うんですけど。
0:54:14	このキャノンのもので倍数はですね。
0:54:17	どんなそのメーカー保証をされていて、納品されるものなんでしょうか。このカウントについてはどんなことが保証されてるんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:32	認証機構、猪狩君積算はイトウご回答できます。
0:54:37	永源寺恒設衛藤カウントについて保証するというものはありません。先ほど井沢の方から話があった通り、各系統としては、システムとしてカウントするというものなので、
0:54:53	まずは検出器としては、その中性子が特定できるというものになっておりまして、それに対して、変換器とかその後段にあるシステムとして、幾つが出せると。
0:55:06	なので、キャンノンとして幾つまで出せるというものではなくて、キャンンとしてはこういう検出器ってということで、その販売してると。
0:55:14	システムとしては、それ以下になるというか、変換器の性能によって測定する、その上限が変わってくるというものになっております。能勢記者。
0:55:24	今のご質問は私の理解が間違っていなければ、メーカーが、検出器に母数をしてやる性能というのはどういうものかというのを質問になったんだと思うんですけど
0:55:34	小磯清野メーカーは何を保証しているのか。
0:55:41	メーカーのスペックシートでも、
0:55:43	移して、
0:55:50	そういう意味では、
0:56:02	規制庁のアラカワですけども、ちょっと先走って話をしてしまうと、
0:56:07	結局、検出器更新するので、検査しなきゃならないわけなんですよね。
0:56:13	その、
0:56:15	10-5 条。
0:56:18	210-50 をカウントできるっていうのを、
0:56:22	そのメーカーとして保証してくれてるのであれば、
0:56:26	ミルシート見ればですね、いいような気がするんですよ。
0:56:31	それをしないで、そのパルスから行くっていうのは、
0:56:36	ちょっとどういう事なのかなっていうふうにも思ってるってところがあるんですけども、原子炉機構伊田です。メーカーは、検出器だけをもって、
0:56:47	何かカウントまでできますっていうことは保証いたしません。それは私冒頭私が防空に説明。
0:56:55	支えるカウントする能力自体は、核計装の方でございます。検出器というのは、パルスを出すだけでございまして、
0:57:05	そうしますとメーカーのを、何かカウントできますかっていうたらそりゃあカウントするシステムによりますと、しかメーカーは言いませんということでございます。
0:57:17	ですんで、メーカーが言うのは、この検出器はこういう性能のパルスを出しますというのが、検出器のメーカーの言うこととございまして、
0:57:27	そのパルスを受け取って数えるのは、既設の核計装の方でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:35	わかりました。そうすると、この今日補足説明資料出ている、更新後だから、図 2 のこの、
0:57:45	パルスは形を保証してるという理解でよろしいですか。
0:57:51	はい。保証しているというかも、現物でございまして。はい。こういうパルスが出るということでございます。現場、メーカー保証してるんですか。これがメーカーから出てきた。
0:58:03	グラフというかですか。
0:58:07	いや、これは私どもの測定でございます。メーカーは何を保証してるんでしょうか。
0:58:16	はい原子炉です。衛藤。このパルスを保証しているというものではなくてこれは我々の方で測定したものになってます。
0:58:25	こういうようなパルスローダーっていうのは、保障してるというところになりますけれども、このパルスは我々が測定したものになってる。
0:58:44	よくわかってないんですけど、結局、検査で確認をしなければならぬものだと思います。今の検査項目を見ると、外観検査ですから清家節家検査とか、
0:58:56	書いてありますけど、なかなか、こういった性能、20 万カウントが計測できると、いうような、
0:59:07	検査内容になってないように思うんですよね。これあんまり、第三者の表面的な話ですけれども。
0:59:16	そもそもなんですけど、2020 万カウント中の、あえて $2 \times 10 - 50$ カウントなんですけど。
0:59:24	これ、新必要な、そのカウント数なんですか。
0:59:29	軌道領域として、
0:59:31	どれくらいそのJAとしては、
0:59:35	確認できなきゃならないのか。
0:59:39	そういう
0:59:40	考えというかですね。
0:59:44	設計の根拠みたいなものは、ないんですかね、その一番最初に来ましたけど、景気が $2 \times 10 - 5$ 乗だからというのは、
0:59:54	ちょっと僕は信じられないな、答えとしてですね、ちょっと思ってしまったんですけど、根本的に真に必要な計測範囲って幾らなんだろうっていうのは、
1:00:04	答えられないでしょうかね。
1:00:08	原子力機構のソノですが、
1:00:10	はい。お答えします。こちらはいろんな計測のデータとして使うものですね。一番大きなのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:20	原子炉停止余裕を測定するときのロッドドロップ法と呼ばれる中で、この軌道系の計数率をもとに、原子炉停止余裕、中性子実効増倍率を算出いたします。
1:00:34	その時の算出のデータを処理する時にですね。
1:00:39	1万cpmぐらいないとですね、統計誤差が大きくなってしまいます。
1:00:46	一番CPSだと、その統計誤差つめがルートできますので、プラマイ100で1%程度になります。
1:00:55	ですので1万カウント位以上はあった方が制度的にはいいということで、低すぎて駄目ですし、
1:01:04	大きすぎると。
1:01:05	今度は、不感時間が大きくなってきて、それで窒息してしまうというのもあって、それで原子力機構が決めたわけではないんですけども。
1:01:15	委員会実験装置とか、他の原子炉でも、一般的に、 $2 \times 10^{-5}$ 乗程度まで測ればよいというようなもので、決められているものと理解しております。はい。
1:01:29	八代教授はい $2 \times 10^{-5}$ で確かにちょっと広いから、はい。 $10^{-1} \times 10^{-5}$ 乗でも運転はできる。
1:01:41	かなと思いますね。
1:01:44	説明がよくわかりました。そういったところをですね、しっかりとご説明していただかないと。
1:01:53	真に必要な、
1:01:56	性能は幾らなのか。
1:01:59	それは、許可でどんなふうに書いてあるのか、それを詳細に設計しなきゃならない設工認でどう反映するのかとかですね。
1:02:09	そういうふうに見ていかないと、何とも過去20万カウントやってるからいいんです。
1:02:16	ていうのはちょっと説明としては、中途半端かなあというふうな気がします。
1:02:22	さらに言うと、メーカー保証として別に20万カウントは、保証はしてないんだけど、10万カウントまで保証してると、というようなことであれば、
1:02:35	そのメーカー保証通りのケーキを使うんだから、ステージとしてJAとして求めている性能は十分反映できてるから問題ありません。
1:02:47	という説明をしてくれた方が、我々としては、ずっと来るんですよ。
1:03:00	はい現象です。ちょっと私どもの事情は先ほど申し上げましたが、その方がずっと来ると大津市、
1:03:07	はい。ただ私どもの事業としては先ほど申し上げておりますメーカーと検出器のメーカーは、カウントの分収はいたしませんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:18	そうしますと実力でということになって今回、実力値をお見せしているわけなんです が。
1:03:32	ちょっと今、
1:03:34	日本と関連してですね、要は、この資料は、
1:03:38	あくまでメインアンプの後のパルスが、
1:03:42	これまでのものと同等だと。
1:03:44	いう説明資料としては、
1:03:46	一応、私は、
1:03:50	いいと思ってるんですが、その 20 万カウント図れるかどうかという議論はその あとの、
1:03:56	カウンターの回路にするので、
1:03:58	その説明にはなっていない。だから、
1:04:01	もしその、
1:04:02	今のですね現在の筧層で 20 万まで、
1:04:07	の確認をしたっていうデータがあればそれを出していただければ、それと
1:04:14	この 0 での同等性をもってして、
1:04:18	20 万まで図れると。
1:04:20	ということなんで、先ほど二つお願いしましたけど、20 万まではかれる。
1:04:27	わかった、確認の。
1:04:29	データがあるっていう、そこが非常に中重要なので、
1:04:34	うん。
1:04:35	僕出してる。
1:04:38	もう一つ言うと、
1:04:40	はい。もしそれが特に技術的に問題がないのであれば、
1:04:44	古いものと、
1:04:47	その同等性を組み合わせてオーケーとするよりは、この今後の新しい譴責を変え るってことであれば、その新しい検出器で、
1:04:58	そういったパルスレートも含めた検査をすれば一番それが、
1:05:04	何ですかね。
1:05:07	いうふうには思っております。
1:05:09	今の時点、それはその辺も含めて、
1:05:13	少なくとも、
1:05:14	計測回路系を含めて 20 万まで、
1:05:17	もうたと。
1:05:20	家族というか、あそこはこのパルサー

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:05:24	とか、この間、
1:05:26	いろんな幅によるところがあるので、総合的に 10 万まで外れますと。
1:05:34	いうもんは、水間は正直言ってやらないと思いますけど、私はね。
1:05:39	10 万。
1:05:40	でも、不満でもある。
1:05:42	小原君。
1:05:43	関連から、
1:05:45	問題ないと。
1:05:46	いうふうに思いますけど、そこはそっち説明。
1:05:51	検討いただければ。
1:05:52	ちなみにね、そういう参考ですけど、今回この、
1:05:57	これは中世C。
1:06:00	元を使って図ったという、
1:06:04	これはどのぐらいのパンフレット。
1:06:07	Bですか。
1:06:08	データとしてお持ちなの。
1:06:12	つまり
1:06:14	これは、うん。
1:06:16	これ後か何かとってる。
1:06:18	てると思いますけど。
1:06:20	いろいろこうきてるけど、
1:06:22	あるところ取りかけて、
1:06:24	ある測ってるんで、
1:06:27	そのあとに来てるやつ。
1:06:29	そうですね。
1:06:30	もう、
1:06:31	もうむしろ戦後、
1:06:32	Takehiを取るときに、それなりの処理という
1:06:36	そういうの同期をとってる。
1:06:38	だから、実際そういう動機を取らないで例えば、
1:06:42	ずっと来たやつ連続的に、
1:06:44	こういう持ち方で見ると、
1:06:46	当然重なったら嫌な。
1:06:49	非常に買う。
1:06:50	TBLっていうか保管率が少なければ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:53	空でもなくて、
1:06:56	ある程度安定した形がとれる。
1:06:58	だと思います。
1:07:00	ちなみにちょっとこの、
1:07:02	こういう、今回のデータの時はどのぐらいで、
1:07:07	取ったのかっていうのがわかれば、
1:07:13	やはり要するにカウントレートの話なんだよね。
1:07:17	やっぱりそういう、
1:07:20	20万までやるとなると、私の経験だと、例えば、
1:07:25	こういう
1:07:27	数の形がわかったら、
1:07:30	CAMSのに近い形の、
1:07:33	いわゆるパルサーと。
1:07:34	ある模擬装置があるわけ。
1:07:37	そういうもので発生したものをいれると。
1:07:40	いうことも前、
1:07:41	物によってあるんですけど。
1:07:43	要するに、
1:07:45	Creator。
1:07:48	古井。
1:07:49	厳秘に対して、
1:07:51	20万のものについてのデータがある。
1:07:54	そうです。それを示していただけ。
1:08:00	この点が一番重要だと。
1:08:06	はい。原子力、老田です。はい。今三好参与おっしゃっていただいたことを、よくわかります。はい。
1:08:13	旧システムで、 $2 \times 10^{-5}$ 乗まできちんとカウントできたことと、またそれと同等の検出器であるということをお示しできます。それ江藤関さん何か。
1:08:26	うんトレイトってわかります。これ取ったときの、それほどではないですよ。キャップの中に入れっ放しなんで。
1:08:32	ある先月、この時は、特に関東が幾つっていうのを確認するような形はしてないんですけども、確か10cm以下。
1:08:43	CPSとかその程度だったと思います。
1:08:54	原子力機構もそうですが、はい。新旧。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:58	合わせてデータを示しスルーということもあると。9 はお示しできますけれども、新しい方ですね、データをお示しすることができれば、一目瞭然、
1:09:10	そういう検査項目が、
1:09:13	審査会合資料の 8 ページにはないということでしたので、実際これ、新しいもので、当然、据えつけてですね、現象論。
1:09:23	提案すれば、当然アカウントが出てくるわけですが、それを臨界にしないとさすがに、20 万cpmまでは出てきませんので、
1:09:35	その場合、原子炉を運転する際にちゃんと表示し、2 万し、20 万cpmまで、ちゃんと継続できてるっていうのが、
1:09:46	もうじかに検査として確認できれば、もうそれで、
1:09:51	良いということでしょうか。
1:09:53	その際に、原子炉を運転しなきゃいけないんですけども、
1:09:57	原子炉運転社会にちゃんと 2 万CPS。新島CPF。
1:10:01	出ているという、検査確認項目として確認すればよろしいのでしょうか。
1:10:10	規制庁渋谷ですけど、これ使った宇宙船資源な事業期間でかなり強い案だと思うんですけども、これはそんなに形跡を近接させることができない。
1:10:21	ですから立体角を取ることができない声明ってことです。
1:10:26	はい。
1:10:27	はい。どうぞ。いえ、井川さん、お願い。
1:10:31	肥田さんお願いします。はい。原子力機構飯田です。今夏は、
1:10:38	キャスクから出しておりません。先ほど 10CPFぐらいと言いましたのは中性子がキャスク腔の中に入れてままにしているためでございます。
1:10:49	そのために、キャスクが出てといたしますとまた、
1:10:54	線量被曝とか他の問題も出て参りますので、今回パルスを取る目的ですので、中性子減の実カフルに使ってということとはしてないという、
1:11:04	仮に出したとしても、 $2 \times 10^{-5}$ 乗というオーダーにわあ、なかなかいかないかな。
1:11:17	竹崎細野ですがそういう意味で、検出器の部分を交換してそのあとのシステム回路として、本以前と同じものを使っておりますので、
1:11:30	検出器のパルスが、過去のものと同じ同等であれば、それはそのあとの回路は同じですので、同等の性能が出るだろうという説明だったんですけども、その通りです。
1:11:45	JRRⅢ持ってくとかっていうのも出てきます。
1:11:55	なぜそういうふうにしますけどそうするとあれですよ、20 万ぐらいまで出た過去のその検査データがあるという、私はそのデータは、
1:12:04	あることがこの指導の前提になってるんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:08	それを運転した上で、
1:12:10	そういう軌道系のカウントレートを見てったとか、そういう、
1:12:14	運転を伴った検査でやってるんですか。
1:12:18	私は炉外での、
1:12:20	さっき言った他の軽さでの、
1:12:23	検査っていうのも可能だと思ってたんですけど。
1:12:25	それもあわせて説明していただければと。
1:12:29	いかに
1:12:30	春田を使った形でやらないっていうんであればそれはもう、
1:12:33	運転した上で、
1:12:35	検査っていう、
1:12:37	最終的な検査っていうことに、
1:12:39	なるのかもしれませんが。
1:12:41	こういう検出器そのものは、
1:12:43	尾原分については、
1:12:46	運転でやる、やるんですけど。
1:12:49	単独のこの機能検査として、
1:12:52	医療系の機能検査として、運転まで含める。
1:12:57	必要があるのかっていうのはない。
1:12:58	ちょっと事情によるとは思う。
1:13:04	はい。原子炉機構江田です。はい。2×10 <sup>-5</sup> 乗というのは結構大きい
1:13:10	FLACSでありますんで。
1:13:12	今おっしゃられたように、運転によるものでございますので、そのための検査をして2×10 <sup>-5</sup> 乗までやったかという、そういうことはやってございません。
1:13:22	核計装の性能の数える性能の上限には、今三好さんがおっしゃられましたようにパルサーとおっしゃられましたけど麦信号の入力で模擬パルスを入力して数えるなあとということは、
1:13:36	やっております。そして検出器はちゃんとした形のパルスを、きちんとしたするというバランスを出すということが性能でございますので、
1:13:44	検出器、そういう薄井、それを見ようと思いましたが、運転するしかないですね。それからまたJRRフリーに持っていきとう申し上げて、おっしゃられましたけれども、
1:13:59	数えるのは、各計測停止の知久計装の方でございまして、検出器を外して3号炉に持っててもこういうバランスが出るなというのを見ることはできるんですけども、2陰の中の50を数えるかという検査は、テストはできない言語でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:23	いやもちろんこの弁アップとかも守っていくっていう趣旨でちょっとこちらも申し上げたんですけど。
1:14:28	まあまあできないということがわかります。いや、それは難しい難しいといいますが壊して持ってくるものとかじゃないんですか。
1:14:36	はい。美馬モジュールじゃないんですかこの辺のメインアップとかそういうモジュールにはなっておりますけれどもつくりつけになっておりますので、
1:14:46	壊して持っていくっていう。はい。
1:14:51	何か交換できるようにはなってるんちゃいますけど持ってけないっていうことパートナーはできますが、はい。
1:14:59	その2ヶ月以上の物っていうところに話が。
1:15:03	はい。
1:15:04	それが必要かどうか。
1:15:07	先ほど言われたようにその2ヶ月の5乗というものは契機として、メモリを打たれてるとは当然はかれると。
1:15:17	いう。
1:15:18	メーカーの、
1:15:19	それはだから、算層の方のメーカーですね。
1:15:23	そちらの考え方っていうその設計として、なぜこれにかけ10の50まで上がれるという設計になってるのかっていうそういう説明もあってもいいんじゃないかと思うんです。
1:15:33	いや、或いはその図れたとかわからないとか、
1:15:36	宇都じゃなくて、
1:15:38	そうじゃないとそもそもカタログにその2ヶ月の50というのは核計装としての使用としてない、ないとすると、
1:15:46	やはりソノ系計器にそのメモリがこのあたりまでだっていう、
1:15:51	ことを持ってきて、
1:15:53	その性能だっていう、
1:15:55	いうことはエビデンスなしには、
1:15:58	受け入れられないと思うんですよね。
1:16:01	その際、最大のメモリっていうのは、本当にそこまで余裕を持って、
1:16:07	不
1:16:09	書いてるのか。
1:16:10	もう、単に目安として、
1:16:13	こう書いてるのか、それはある程度一概には言えない部分があると思うので、
1:16:19	そこは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:21	そこについても、多少わかる範囲で説明をしていただいた方がいいんじゃない。
1:16:28	原子力機構なのですが、最初の説明がちょっと誤解を与えてるのかもしれませんがけれども、 $2 \times 10^{-5}$ 乗。
1:16:40	CPS案、最初はっと書いていたのは、CPSだったのでCPS直すということですがけれども、 $2 \times 10^{-5}$ 乗CPSというのは、これはメーカー保証でも何でもなくて、設置許可書に、そこまで計測しますという宣言ですね。
1:16:55	そういうしようとして、約束したものですので、別に $1 \times 10^{-5}$ 乗でもよかったかとは思いますが、当時としては $2 \times 10^{-5}$ 乗CPSまで、計測しますということで約束したものです。すいません。
1:17:10	教科書に書いてあったらWhatの方でして。そうそうやな。そう。そのワットは、さっきの説明でね、
1:17:21	運転系線形とか安全視力の 200 ワットと同等その程度まではかれるという意味で記載してただけで。
1:17:31	ただカウントとしてはCPS単位のつもりで書いていたと。実際に
1:17:37	軌道系の計装を見ると、ワットではなくてCPSって書いてありますし、それは記載の適正化ですっていうのが、最初の単位の記載の、
1:17:48	適正、消費変更という申請。
1:17:53	ですよ。
1:17:55	なのでは、2.5 ワットって書いてあったけれども、実際のところ、その意味は $2.5 \times 10^{-5}$ 乗CPSの意味だったと。
1:18:07	そういう意味で、核計装の計数値も $2 \times 10^{-5}$ 乗まで雨森が振ってあるし、それはメーカー保証ではなくて、あくまで市、申請書、
1:18:18	設置許可書の申請書の中で、 $2 \times 10^{-5}$ 乗まで図れますよというふうに宣言したで、実際にはかれることを言っているだけです。
1:18:31	で、今回は井澤も話しておりましたが、性能を変えるものではなくて、 $2 \times 10^{-5}$ は単に紙わっとCPSに記載を適正化するだけです。清野には何も言ってませんということになります。
1:18:46	その上で譴責は、当日以前ついていたものと同じパルスを出す件数気をつけて、
1:18:56	それ以降の増幅系については、既存のものを使うので、形式さえ同等のものを接続すれば、当然、 $2 \times 10^{-5}$ 乗CPSまでは、
1:19:08	測れますよ。実際に、以前の運転では、図ってましたという説明ロジックなんですけれども。
1:19:25	今の話で少しくリアになったかなと思っていて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:29	増幅器以降については変えないんですよ。変えるものについては検出器だということなんですけど、やっぱりその検査で、どういうふうに同等なんだっていうのを掲載しなきゃならない。
1:19:42	かと思ってるんですよ。何ができますかっていう話をしている、僕は一番最初に申し上げたのは、メーカー保証があるんだしたら、それ見ればいいじゃないかと、それができないんだと、何ができるんですが鋭いピークが出てる訳を見ればできますよ。
1:19:58	その予見性が今見れませんよねって話を差し上げたというところであります。
1:20:04	で、検出器変えるんだから、同等なものがついてるってのは、検査で見たいっていうのが一つと。
1:20:13	あと、これも繰り返しになっちゃいますけど。
1:20:15	なんで $2 \times 10^{-5}$ 乗なんだっていうのは、これ整理しておかないとやっぱり駄目なような気がしますね。
1:20:23	真に軌道系として求められてる性能って何なんだってことなんだと思うんですよ。
1:20:43	原子力機構のソノですが、
1:20:45	前半部分の今回記載を変更する、 $2 \times 10^{-5}$ 乗和と。
1:20:55	とに掛ける 10 の 5 乗アップと書いてあったのを、 $2 \times 10^{-5}$ CPSに変更するので、ちゃんと $2.2 \times 10^{-5}$ 乗CPSまで。
1:21:05	計測できることを確認すること。
1:21:09	はい。これについてはもう、実測ですね新しいものをつけて実測するか。
1:21:15	或いはいろんな間接的な証拠を積み上げて、それでちゃんと同等の性能が出ます。実際に原子炉を運転したときには、
1:21:25	$2 \times 10^{-5}$ 乗まで当然測りますよというのを、確認するというか、確認できなければ運転できませんので、
1:21:33	当然そういったことは、
1:21:35	できるわけですけども、それを検査としてやる必要があるというふうに認識しました。
1:21:41	だから、
1:21:42	二つ目は、どうして $2 \times 10^{-5}$ 乗CPSなのかっていうとですね。
1:21:49	レーバー先ほど統計誤差の話で、ある程度の、ある程度ってか一番強いペース以上は確保しなきゃいけないけれども、
1:21:59	2 万し、 $2 \times 10^{-5}$ 乗CPSである必要は必ずしもないとは言いましたけれども、
1:22:08	逆にそこを変えてしまうわけですよとそれこそ下の審査要件になってきますので、
1:22:15	そこはもう、そういう、決め事にしたと。例えば原子炉出力もステーション 20 後ですけれども、何で 200 ワットにしたかっていうと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:26	いろいろ理由はあるけども、208 度だからですと、今回 200 ワット変えるものではない。以前のワットのまま使いますと、
1:22:36	いう説明になるんですかなと思います。
1:22:39	喜納。
1:22:44	今断然御影中の所までいるのかといえばそうです。それについての説明。
1:22:52	いうこと。
1:22:53	当然上限値ですから、
1:22:56	いわゆる個人と検査機能、
1:22:59	配置できる。
1:23:00	場所の制限とかいろいろ含めて、
1:23:04	ある程度考え方ってのは整理はできると思うんですよね。一つ、軌道系で言えば、
1:23:11	中性子線最初に本当に立ち上げる時に、修正資源を入れて、当然それによって数えなきゃならん。
1:23:18	だからそれで、
1:23:20	今 3CPSとか 2CPS。
1:23:23	そのぐらいは数えないと運転できないわけですからインターロックかかる。
1:23:28	だから、要するにそれーが数えられるぐらまで、
1:23:32	軌道系は近づけておく必要があるとまずそれが軌道系の配置の上の制限になる。
1:23:39	その上で、
1:23:40	こうする、
1:23:42	吸い上げてって、だんだん、城戸家や、
1:23:45	上がっていくと。
1:23:46	2 掛け 10 の向上、要するに、
1:23:50	数万CDSぐらい。
1:23:52	なる前に、
1:23:54	運転系が立ち上がってくればいいわけですよ。
1:23:58	ですからそういう、
1:24:01	そこはもう運転系の設置の条件になるわけですけど。
1:24:05	そこをクリアすれば、
1:24:10	するために 2020 万はいるのか、或いは 10 万でもいいのかという、
1:24:15	そういう説明はできるんじゃないかと思う。
1:24:18	じゃあ、そのオーバーラップ考えたときに、
1:24:22	運転系が今 6 桁あるわけですね。
1:24:25	何ミリワットから。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:24:27	実キロワットと。
1:24:28	いうふうに確かなったと思うんですけどね。だから、逆に言うと、ちょっとそのそもそもの話に、
1:24:35	するつもりはないけども、
1:24:38	別にステージの場合は、2キロまでは、
1:24:41	由良
1:24:43	1桁上まで取っておく必要はなくて、
1:24:46	運転系の守備範囲としては、丸尾ぎりぎり208と場合によっては300とか400とか、そのぐらいに下げおけば、6桁っていうのがもしあるのであれば、
1:24:57	運転系の下限値は、当然1桁、
1:25:00	下がるわけですね。
1:25:02	ですからそういうことを
1:25:05	当然いろいろ考えられて、この数値を決めてるのかもしれないけど、結構うん。
1:25:11	運転系の上限が2キロっていうふうに設定してるんで。
1:25:15	逆に運転の下限率が下がってきちゃって、従って、逆にオーバーラップさせる他の上がってきちゃって、
1:25:23	軌道系の上限値を、
1:25:26	田上に取らないとっていうそういう、ちょっと定性的な話になってますけどね。それでやっぱり運転系の守備範囲と軌道系の守備範囲っていうのを、
1:25:37	もう少し無理のないところに見直すっていうことだっけ、私はもともとあると思ってますよ。
1:25:43	今中20万。
1:25:45	っていうのは、単に2がと変えたっていうそういう説明されてるけど、
1:25:51	やっぱり、
1:25:52	表記を変えるっていうことは、
1:25:55	やっぱりその、
1:25:57	CPSで測れるということ、ある意味、ある意味保障しなきゃならないんで、
1:26:02	そこはそこの検査の方法についても、
1:26:05	全く
1:26:07	変わらないけども、
1:26:09	そこについての考え方はそれに対応、対応した検査をしなきゃならないという、そこは十分、
1:26:16	理解していただいた方がいいんじゃないかというふうに思いますね話。
1:26:21	はい。現状感想です。
1:26:23	検査できちんと $2 \times 10^{-5}$ 乗CPSまではかれることを確認。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:30	することということは理解いたしました。
1:26:36	伊澤さん何かありますか、問屋おっしゃられたんですけどね同等性の話から始まってからこういう説明が出てきてるんです。
1:26:45	うん。だからどっちかっていうとね、そういう同等性の話やな。
1:26:50	その 20 万っていうのも進めて、それを守ることであればそれをどう担保する、どう設計してあって、
1:26:57	ちゃんと進んでるかっていう、そこが、
1:27:01	今はどうか、入ってるんで。
1:27:08	結構だっていう、その 2 段構えでやってる。
1:27:11	やっぱりそういう経緯があって、こういう形で、
1:27:14	この資料はそうになってない。
1:27:17	ということなんで、どちらかっていうね、基準はあるかどうかっていうのは、
1:27:22	先ほどの建築としての保証ということが、
1:27:26	8 検層のね。
1:27:29	角形ソースのシステムの方として、メーカーがどういうパルスが来れば、20 万 CPS まで担保できるのかっていうそういう、
1:27:39	核計装の設計条件の話なんですよこれ。
1:27:43	非常にね、元アンプのあれが、これからさっ 3 マイクロとかぐらいにも、ある程度落ち着くところまでかかるの。
1:27:52	時間がかかってるけど、
1:27:56	要するにか核計装の方として間、出力を受けた後の、
1:28:02	回路として、
1:28:04	どのぐらいの、この、
1:28:08	メイン出力の炭素幅だったら大丈夫だとか。
1:28:12	どちらかというと箕さんの方の設計として説明がされる。
1:28:17	数字のだというふうに私は思いますよ。
1:28:21	だから、当然、検出器としての同等性ってことで、今回そのすぐについての話が出てきてるけど、
1:28:28	0 加来ソノケーキ 20 万というふうにつけてやるのであればね当然そのの、
1:28:35	理由というか根拠があるわけ。
1:28:38	あるんじゃないかというふうに思うんです。
1:28:43	原子力のそうですが、はい今回検出器が古くなったので新しいものに変えまん。
1:28:52	変更すると。
1:28:54	そうしますと、今後はやはりその、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:57	検出器を交換する時にですね、ちゃんとそのCPSまではかれることを確認しなければいけない。しかもそれ検査でやるとなれば、
1:29:07	こういった検出器を交換するだけであれば、設工認は不要ではないかと思っただんですけれども。
1:29:14	全く同じ仕様のもので作ったとしても、やはり検査で、
1:29:19	確認する必要があるということになりますでしょうか。
1:29:23	関係者協議会ですいません。まず、核計装を交換すること自体は、行政相談をお出ししまして、それに関しましては設工認不要でやってよいというご回答をいただいと理解しております。
1:29:39	ただし、今回、この際に話題になりましたWAC表キーが、
1:29:44	軌道系がワットを測ってるわけではないのに許可するにはと書いてあるのが、誤解を招くとは熱出力を測るようにしか読めないから直すようにとご指示をいただいて、
1:29:56	表記も一緒に直しますというのが顛末でございまして、
1:30:01	表記を一緒にお持ちいたしますと、じゃあ、この表記の上限カウントまで保証するんだなという形になってしまうと、どうしてもそうになってしまうよというのは。
1:30:12	理解いたしました。従って今後確定する。なお、土岐検出器だけ交換する時にはやっぱり、
1:30:19	施工に不満を行政相談をかけた上で、設工認不要でこの検出器や休憩室と同等のものでございまして、そのロジックでよろしいかなと。
1:30:29	思うんですが、今回はちょっと特別なんでございまして、その表記を直す一応表記の性能を見るよというお話にやはりなってしまう。
1:30:38	理解いたしますそう理解いたしましたが、
1:30:42	原子力もそうですが、はい。そういうことであれば、今回は、はい。検査をして、実測できることを確認すると。その方法についてはちょっと、はい。機構の中で検討いたします。はい。はい。検討いたします。
1:31:14	規制庁の赤沢です規制庁側から他に何かございますでしょうか。
1:31:25	どういうから参加されてる方は何かございますか。
1:31:31	特にございません。
1:31:34	はいありがとうございます。
1:31:36	根井。
1:31:39	はい。
1:31:40	原子力機構のソノですが、そうしますと、検査を見直す必要があるかと思っまして、これは原子力機構の方に聞きたいんですけれども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:50	審査会合資料の 8 ページ目で、今、検査として、外観検査から品質マネジメントまで 4 種類ありますけれども、ここに、
1:32:00	何らかの形で、実測、検査をすると。
1:32:06	で、
1:32:07	これは
1:32:10	その設工認申請書の工事フローの中に出てくるんじゃないかと思うので、それも補正することになりますか。
1:32:26	はい。審査会合資料の 9 ページ目にも、その検査があつてここには、
1:32:32	そういった実測の検査がないんですけれども、
1:32:36	これはもう、
1:32:38	申請書の中で、明確にする必要があると、私は理解してますけど。
1:32:44	藤布施氏の
1:32:47	実績については検査をするということなので、今 8 ページのところの検査項目のところと、それから個人ローンについてはあそこに性能検査という形が、先ほど検討しますけれども、そのような形で追加することになるかと思えます。
1:33:07	はい、わかりました。はい。
1:33:16	規制庁中田ですその他確認しておきたい。藤代理等ございますでしょうか。
1:33:22	減少聞こえたんです。一点確認等すいません。その実際の検査なんですけれどもそうしますと、模擬信号を、
1:33:32	核計装に入れて、つまり検出器を外して模擬信号が系統に入れて、
1:33:37	こういう検査に、
1:33:39	なりますでしょうか。そう。そうでないと、
1:33:42	実際の抽選しということになります原子炉を運転するぐらいしかございませんので、
1:33:48	そうしますと検出器を申請しにきて、検出器を外して模擬信号入れて、掛け算を入れるというのはなきような話でございますけれども合わせ技でということでしたらそのような検査に、
1:34:01	形としてですけど、検出器の変更だけ行うのであれば、
1:34:07	今できるわけですよ。
1:34:09	はい。検出器は変えていただいて、実際に試運転ですか、選定のときに、20 万 CPS が書かれるのを確認して単位を発行する。
1:34:22	というのはできるんですか。
1:34:24	はい、手順的には可能であるかと検査の段階を二つに分けてまず検出器として単品の、一通りのスペックもいまして、
1:34:35	写っている検査をやって単品としてはちゃんとしたものですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:39	それを、
1:34:40	確認した上でステージに踏み込んで、実際の運転にかけてみて開かれるということ、
1:34:47	にするのは可能であるかなと思います。運転再開に合わせて、
1:34:52	原子力機構のソノですが、補足説明資料の5ページのその回路図をちょっとご覧いただきたいんですけども。
1:35:01	今伊澤が申し上げたのはですね、抽出資源から検出器を介して、それで、実際は測るわけですけども。
1:35:11	それを、件数キーの信号のところですね、テスト用のパルスを打つ、電気信号で、
1:35:22	入力するのがあります。それが実は起動前点検のときに、ちゃんとそこまで出力が出るかっていうのを模擬Perl模擬入力力で検査しております。
1:35:34	で、その模擬入力であっても、実際譴責から出てくると同じ電流、電気パルスなので、そこは問題ないんですけども、そうするとですね。
1:35:45	今回この検出器の部分を変換して、それで最後まで、その軌道系の計数率計までちゃんと水間CPSまではかれるように、確認することはできるんですけども。
1:35:59	今、事前に建設昨日、
1:36:03	ところを電気パルスにして、
1:36:06	それで、そのニーズCPFまではかれることをするのはこれはまさに起動前点検と同じことをやるわけですね。
1:36:14	で、検出器を、
1:36:16	そう、今回、
1:36:20	新しいものに変えるわけですけども、
1:36:23	そうしますと前置増幅器以降はですね、全く変更してないわけなので、
1:36:32	あまりその形態の意味がないというか、
1:36:35	実際実測して、20万cpm数出ることはもう、
1:36:44	自明ではあるんですけども、あまり意味がないような気もするんですが、
1:36:50	なのでその見識さえ、同じ性能のパルスを出せば、あとは同じなんですよというのがもとの、
1:36:57	ロジックだったんですけども。
1:37:00	いかがでしょうか。
1:37:08	そうですね。後ろの方変えてないわけですから。
1:37:12	だけどその今の設工認と比べると、ワットなんですよ。そこら辺をどういうふうにつなげるかっていうところかなっていう気もしますね。はい。原子力機構の相馬です。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:25	そういう意味で、今、この5ページ目の回路図で、軌道系の計数率計に、
1:37:32	CPSで今までも書いてあったわけですね。で、単にワット表記をCPSというふうに
1:37:44	誤ってるわけじゃないですけども、違う単位で書いてあったものを、WをCPSに直すだけなんですよね。だから回路は何も言ってない。二部ATENAんです。
1:37:56	なので、
1:37:57	本当機械の適正化、ワット相当の、同じ斜ソノわっ等のレンジあたりをはかれるぐらいに軌道系の、
1:38:08	$2 \times 10^{-5}$ 乗とか4乗とかっていうのを、この辺りに合わせていますっていうだけの表記の話だ。なので、
1:38:20	なので、2、2万ワットじゃなくて20万CPSを図れるかどうかっていうのはもうほぼ、すでにその景気上は私たちずっとそれで、
1:38:32	確認してきたわけなので、
1:38:35	それこそ、あまり意味がない検査になるのではないかというふうに思った次第なんですけど。
1:38:43	減少以下です。ちょっと先ほど、
1:38:47	三好参与うからご提案いただいた、
1:38:51	ことでは、結局駄目なんです。つまり、今回ものとしては何も変わっていませんというご説明は審査会合の冒頭でも差し上げます。はい。物は全然使えませんかと検出器以外はですね。
1:39:03	従って、過去、20万CPSを超えて測った実力がありますので、のデータを見せして、回路としてはきちんと2掛ける中の補助をカウントできます。
1:39:16	指導監ごめん、原子力のそうですが、過去にね。
1:39:21	水沼。
1:39:23	CPとか、
1:39:26	20万ワットじゃなくて20万CPSね。それは計数率計人。
1:39:32	ニイツマCPSまで振ってあるからCPSで、測れてるってことは説明できるということね。
1:39:40	それと阿部さんとか、計数率でカウンターで結果、高精度の記録系をつないで、木戸家をとったデータがありまして、
1:39:51	それで $2 \times 10^{-5}$ 乗ソノメモリを超えて、ちゃんとカウントしているというデータは詳細にとってある運転がございまして、
1:40:01	はい。その通りじゃ、もうその時にCPS単位でちゃんとをはかれてるっていうのが、お示しできるってことですね。はい。そうですね若山ちゃんのはずです。はい。
1:40:12	新井田CPF単位で図れていることがお示しできると。はい、了解。
1:40:17	そして先ほどおっしゃられました、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:22	なぜ $2 \times 10^{-50}$ なのかというのに関しても、00 定性的になるかもしれませんがけれども、そういう値でございます。そういう経緯で、過去から使っている値でございますというのは御説明が、
1:40:35	利便性が必要と理解いたしました。
1:40:40	現状機構の相馬ですが、そういったことを説明した上で、やはり実測で検出器經由で、きちんと 20 万CPSまで。
1:40:51	図れる。
1:40:53	というのをお示しする。
1:40:55	そうですね。それが小昔ってか変更する前が 20 万市、ワットって書いてあったとして、
1:41:05	それをCPSに変えるのであれば、当然そうかもしれませんが、
1:41:10	ケース計数率計の記載上は、
1:41:15	WhatではなくてずっとCPSだったわけなんですよ。
1:41:19	なのでもう本当記載の適正化だと私は理解してはいるんですけども。
1:41:27	表記が変わって計数率計の指示値もCPSなんだけれども、
1:41:32	許可書の記載が変わってるから、もう 1 回検査するという必要、検討する必要があるということでしょうか。
1:41:45	ちょっと議論が回ってるように、はい。
1:41:48	ですけどね。
1:41:50	要するに先ほど起動前点検でやられてるっていう。
1:41:55	言われたけど、別に起動前点検で。
1:41:58	いわゆる、
1:42:00	木戸家についてね。
1:42:02	池田幾つまではかれるかどうかということ、その都度運転の前にやってるわけではないんでしょう。やってる。
1:42:12	それをどういう形でやってる。
1:42:14	はい、原子力機構の宗ですが、起動前点検では検出器に入るラインに模擬信号入力する、その構成系がついてます。そこに、
1:42:26	$2 \times 10$ 、あれと、10 倍ずつですね、高レンジがあって、それを切り換えていて最大 $2 \times 10^{-5}$ 乗間。
1:42:36	そうだねこれ広め細かいこと昨日前点検では $2 \times 15$ 時までやったやつ $1 \times$ 中の補助のオーダーで、それを多少まだ校正から入れております。
1:42:48	これはちょっと私は三枝サイドのこと言うといわゆるパルサーっていうか模擬パルスをね、
1:42:54	入れるのに相当してるんだと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:57	思いますけど、だから、その機能前点検で、2 箇中の五条までが 1 掛け 10 の補助。
1:43:04	40 までか知らないけども、それは
1:43:08	定期点検機能が検査のやり方としては踏襲することも可能かもしれませんが、要するにねちょっと先ほど、
1:43:18	ソノさんはその表記が変わっただけだと、そもそもCPSだと。
1:43:24	いう話なんですけど、やっぱりその表記が変わると、これはちょっと伊澤さんは同意されてるみたいだけど、要するに上限値が表に出てくるんで。
1:43:35	それが図れているのかどうか、それについては、私は今の、それは算層上の問題なんで。
1:43:43	そのデータをしっかり出してもらえれば、
1:43:46	2 段構えでもいいと思ってるんですけども。
1:43:50	ただそれ自身がまだ、
1:43:52	必ずしも資料としては
1:43:55	そこをまずクリアにしてもらうことは大前提だと、いうふうに。
1:44:01	思います。
1:44:05	だから、そうやって、
1:44:07	起動前点検としてもすぐ簡易にできると。
1:44:12	いうことであれば、
1:44:14	必ずしもね
1:44:16	ホットで、
1:44:18	やれるやる必要があるかどうか。
1:44:21	というのはあると思うんですけど。
1:44:23	運転を伴わないそういうパルスでやる話と、
1:44:30	運転で、
1:44:31	実際に 20、20 万まで、
1:44:34	こうなるように、段階的に上げてって、
1:44:38	図れる。
1:44:39	図れるかどうか、要するにねちょっとその数え落とし、
1:44:42	当然出てくるわけだよね。
1:44:44	1 万CPSぐらいだったら数%。
1:44:48	しれないけど、
1:44:49	20 万cpm安里単純な式でやると、結構な数え落としになるわけですよ。
1:44:56	だからそういうところを言うと、武藤さん、今ここに書いてあるCPSっていうのが、
1:45:02	どういう意味なのかっていうのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:45:05	今までの説明では
1:45:07	十分説明され、
1:45:10	具体的に本当にそれは最初にやる、最初にやるんだったら最初にやればいいと思うんですけど、結局、
1:45:18	起動から宣言入れてからずっと臨界ますわっと。
1:45:24	なるまでに、
1:45:25	ずっと軌道系運転系も含めてね。
1:45:29	ずっとこう他のプロットしてって、
1:45:32	場合によっては、やっぱり活用都市っていうか、いろんな要因あるかもしれないけど、
1:45:37	リニアにならずにちょっと寝てきたり、
1:45:40	こういうことがあるわけだからそういうデータっていうのは、
1:45:43	最初に、実験場はどうか知らないけど、
1:45:47	本来とってる。
1:45:49	必要はあるんだと。
1:45:52	それをこの検査として、
1:45:54	模擬信号でやれる。
1:45:56	やれるということであれば、それでもいいし、もしやっぱその説明がないとやっぱりホットで、
1:46:02	目盛り通り 20 万ぐらいまで、
1:46:05	家に、城戸家の菅久我。
1:46:08	増えていくと、他の。
1:46:10	カウンターと合わせてですね。
1:46:13	ということは、
1:46:15	CPSを、
1:46:18	主要な範囲の上限とするのであれば、
1:46:22	やっぱり、
1:46:23	必要だ。
1:46:25	変わるんだったらそれに対するやっぱ説明を算総計としてしてもらう必要。
1:46:30	炉外でこういう軽さでやればいいと。
1:46:34	いうふうに考えられるんだったらそれを説明して、どちらかと。
1:46:40	説明はするよりはもう図った。
1:46:43	早いということであれば、それを検査の方、
1:46:51	はい。原則競争ですがはい。今、20 万CPSまで計測できるっていうか指示ですね、メーターが指示できることということで、はい。受けたありますというのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:07	本当にその 20 万CPSが実際に 10 万cpmかどうかというのやはり、窒息状態がありまして、
1:47:14	その辺はオーバーラップですね、ソノち角島CPSまでちゃんと指示してるけれどもその前に、運転検体数がオーバーラップしていれば、問題ないわけですので、
1:47:27	最初の方に座間が話した通りですね、20 万CPS指示をすることと、
1:47:35	というのが確認できればいいのかなと。そういう意味で実測してお示しできるのではないかというふうに思っています。伊澤さん、どうですか。
1:47:44	はい。今、ソノさん、説明の通りですね。はい。CPSというのはカウントパートが 1 秒間に何にかける 15 条カウントするというだけの意味でございますので。
1:47:57	はい。過去もきちんとカウントできておりますし、
1:48:04	パルサー。
1:48:05	もう信号入力でできるかちょっとメーカーと調整して、いずれにせよ、それをお示しする、検査、検査にするか、別ご説明資料にするか、
1:48:17	いずれにせよ何らかの検査を持ってそれについてご説明しなければいけないというふうに理解しました。
1:48:29	規制庁シブヤですけどパルさんっておっしゃってんのは、
1:48:32	党派系も模擬できるランダムパルサーってそういう感じの物ですか。
1:48:39	はい。
1:48:41	厳密な、厳密まではいけませんけれどもはおっしゃる通り、ある操作して、包絡するようなマルバツを持ったような、パルス新法Bにはね上がりますな。
1:48:52	あれすごい言ってます。はい。
1:48:57	はい。
1:48:59	のところに換算を含める
1:49:11	だから逆に検出後の出力と同じようなはず。
1:49:16	社長。
1:49:23	STACYの小林です。ちょっと話、概要だけ整理したいんですけども、今回二つの事象がこの、
1:49:31	変更に入ってる。一つは対数表記を変えることも一つは、同等性能の比例計数管をに変えること。この二つです。仮にですよ、仮に、
1:49:42	同等性の比例計数化にも変えず、今のままの綺麗警察官で使うとして、表記だけを変えますと、
1:49:50	そういうふうにな、そういうふうな変更する場合に、
1:49:54	これは、
1:49:55	検査ではなくて、審査ですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:00	引き続き、会議、全く一緒の機械を使うんだけど、許可にワットになって、CPS になってる。これだけの表記を変えるっていうのは、これは検査事項ではなくて、
1:50:12	審査にあたるそうですねやっぱり審査に、審査に当たるんでその審査にするかっ ていうと、過去にそのいざ申したように、
1:50:22	過去 20 万CPS測ってますと、ワットに対する対応させるとこうなりますっていう資 料をお示しする。
1:50:30	それで審査は、
1:50:32	単位表記の審査は、できる。
1:50:37	もう一つ、
1:50:40	仮に単位表記が、は、許可ワット今なってますけれども、主担表記がCPSで、設 工認もCPS。これは単位表記同じだとして、
1:50:50	今回検出器だけが、計数管だけが古くなったと。
1:50:55	古くなったとした場合に、これを変えたいです。同等性の比例計数管に変えると。
1:51:01	これになったら、
1:51:02	これは検査も、ここに書いてあるような検査ですけども、これは比例計数管だけ を変えるのであれば、
1:51:10	運転させてまで見るわけではない。
1:51:15	ですよ。
1:51:17	その通りですね検出器単体の検査でやったことはないです。はい。
1:51:21	なので、二つ、ちょっと合わせるとちょっとごっちゃになるかもしれないんですけ ども、まず一つ、先生。
1:51:30	表記は。
1:51:31	入ってるんですけども。
1:51:33	もちろんそうです二つはわかってますけれども、
1:51:37	一つ目の対数表記を変えるというのは、過去の
1:51:41	比較で、これは説明。
1:51:44	する、それから同等性の比例計数管に変えるということに関しては、これまでの審 査経験に基づいて、
1:51:53	運転をしてまで、
1:51:56	やるのではなくて、こういった同等性であることを、
1:52:02	同じものに変えると。
1:52:04	ただ、検査ではなくてそういうことをするという報告を行うと。
1:52:09	それっていう。
1:52:11	考え方では、
1:52:14	二つ合わせると、また市、対応が違うっていう話ではないと思ってますけれども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:21	ただ原子力ですただ今これたまたま二つ合わせてお出ししたんでも規制庁さんの頭の中では、セイノーに掛ける10-5乗と変えるんだったら、
1:52:31	性能を見るというお話になってしまっている。
1:52:34	そうしますと、
1:52:36	分割して補正して二つの設工認に分割いたしましょうか話し合わせると話がごっちゃん多分、上の方に説明するときをもうごっちゃになってしまっとうしようもないということでしたらちょっと煩雑ん、規制庁さんに伴事務仕事が増えて煩雑になってしまっとう迷惑かもしれませんけれども、
1:52:56	わけー。
1:52:57	評価。
1:53:02	もともとこれに関すると機械の変更にしましては、熱出力を測っているわけではない。
1:53:10	自動計画係争に許可のところ熱出力はとって書いてあるのは良くないから変えなさいというご指示をいただいて拝承してお持ちしたものですんで本当に物理とは関係ないものでございまして、
1:53:22	合わさる等、町内の皆様に混乱がというのでしたら、
1:53:27	分割いたすというのも、金戸と規制庁シブヤですけども、同等なものに交換するのは、届け出で、
1:53:38	できるわけですよ。なので、玉野部分を同等なものに変えるっていうのはパルスを示していただいて、
1:53:49	これで行政、同等なものに変えますのでっていう届け出で、大丈夫だと思います。
1:53:57	うん。
1:53:57	ただ、今言った単位変更の方はやっぱり審査が必要になってきますので、
1:54:03	うん。ただ、審査をするので、むしろTOTO製が本質ではない。
1:54:08	ですね、もうもう届け出単位変更しようって話ではないので、
1:54:13	仲むしろ許可整合等、技術基準の適合性の方からスタートした方が、お示ししやすいってことだったら同等性っていう言葉をもう1回忘れていただいて、そちらから組み立て、
1:54:25	直していただいて全然構いませんので、どちらの方が示しやすいのかっていうことをご検討いただければと思います。
1:54:33	なるほど。
1:54:35	エンシュウ小枝です。
1:54:36	そうしますと、各検出器を変えるというような話はもう除いて、
1:54:43	機械の変更の設工認にさせていただいて、検出器の届け出を出しフル、確かに行政相談時に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:54	結構に不要という話にな。
1:54:57	パッと理解していたらやはり設問用という話になってちょっと私ども混乱したところがあってそれでまぜてしまったのかもしれませんが、改めて話を。
1:55:06	クリアに、
1:55:08	整理し直してということで、
1:55:11	木場さん。
1:55:13	言ってくれたらそういう意味、いいですかね。
1:55:15	はい。そういうふうに分けて、一つずつの対応を考えると、そういう対応もあり、あり得るのかなと。
1:55:27	なるほど。はい。
1:55:32	ちょっとそんな話がついてるわけてどれだけ議論が単純化するかっていうのはあるんか。
1:55:38	かと思いますね。今、
1:55:40	同等性の話は、今の話、今のデータである程度出てきているので、
1:55:47	ただ、大変この方はどうぞ。
1:55:52	いるので、その耐変更されたCPSを測れる。
1:55:56	廃棄になってるってことを検査可能性も含めて、
1:56:00	説明してもらおう。
1:56:02	ということなので、合わせたから、何か説明が、
1:56:06	途端に難しくなるとも思いませんけども、ただ、問題はね、ちょっとその検査の方法として、
1:56:13	本当にするか、ことじゃなくて、やるかってもうそこは完全十分検討してもらおう。うん。うちがあるんじゃないかと、いうふうに思うんですよね。だから、
1:56:23	CPSで、そもそも2ヶ月の部長間で、
1:56:27	無理が振ってあると、当然それには根拠があるわけで、それを実際に、
1:56:32	過去に、そこまでの、
1:56:35	測定が図れるというかね、というか測れると言ってもね、ちょっとここの議論が何か今ひとつ足りないと思ったんだけど。
1:56:44	要するにレファレンスとなってるね。
1:56:47	そのパルスが入ってきて、
1:56:49	それに対応して2掛け10の苦情を、
1:56:55	示すことができるのと要するに風を通すなりいろんなね、パイルアップも含めて、
1:56:59	ある程度それを追隨してるというところを見ないと、単に
1:57:06	そのメーター上ね、2掛け10の5乗まで針がこう触れていきますっていう話ではないはずなんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:15	先ほどのデッドロックで、麻生測る話が出たけども、
1:57:21	カウントレートが、例えば一番。
1:57:23	5万だとしてね、5万出てるけども実際はね。
1:57:27	家庭用都市等で、それよりも、
1:57:31	多くなってる。
1:57:33	うん。極端に多くなったらそもそもその5万人。
1:57:38	指示をしてたって、
1:57:39	それ自身の信頼性が問われるわけなんで、
1:57:42	いずれにしても、
1:57:44	何ていうんすかね、どっかにレファレンスとなるものがあつた上で、
1:57:50	2掛け10の五条までは、ある、そこそこカウント。
1:57:55	付けますというデータがないと。
1:57:58	まずそのテストにはならん。
1:58:03	不払いそうなるデータを、
1:58:06	入力する模擬パルスにするのか。
1:58:11	或いは運転をして、
1:58:13	他の建設系で、
1:58:16	数え落としが少ないというか、割れとなる検出器を、
1:58:21	もとに、
1:58:22	2掛け10の保証まではかれる。どっちか、どっちにしろ、その入力で押さえるか、他の検出器で、
1:58:30	参照するデータとして押さえるか、それがないと。
1:58:34	いわゆる2掛け10の50まではかれますっていう。
1:58:37	そういうことを確認するための検査にはなりませんからね。だからそういうことも含めて、
1:58:46	データを見直してもらふ必要はあると思う。
1:58:50	ちょっとその、
1:58:51	そもそも荷掛中の郡上まではされてるとはかれますというところのその説明が、
1:58:58	今回は同等性のところにウエイトを置いてある。
1:59:02	ないんで、あそこを。うん。
1:59:05	についての説明を改めて求めてると。
1:59:10	いうふうに理解していただき
1:59:13	いや、すみません今の、先ほど申し上げたのは2×10検出器を変えないで2×10-5乗の表キーの団体だけでしたらもう、そもそも審査、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:25	話が済む話で、検査で何とかするということにはならないということでございますね。セールスは、
1:59:31	はい。
1:59:33	今おっしゃられた、ちょっとリファレンスでというのは現実的ではないと思います $2 \times 10^{-5}$ 乗ではか、そういう。
1:59:42	中性子場を持つてるメーカーそこまでやってるメーカーはないんですや抽選者が必ずは必要ないんで必要じゃないんですよ。
1:59:53	例えば茂木%ルソン普通だったら茂木パルスでやっていくんです。
1:59:56	もちろんもう一発でございます。それでやれるって委員。
2:00:00	それでそれなりの説明があればそれで私はいいと思ってますよ。
2:00:05	必ずしもその運転をした所その説明は、今までもある。そうですね。データでここまで測りましたというのは、
2:00:16	お出ししたいと思います。ただし先ほど、実際のリファレンス真の値があつてというのはちょっとそれはやはり、
2:00:25	実際の炉心以外にはないですね。てかですね、真の値があつてどうこうというよりは、工認で、
2:00:33	が経営層に求めているのは、その2ヶ月後までカウントするということで、それを我々使って運転するということでございますので、
2:00:44	ルールしちゃうから、もう言いませんけど、メーカーが210の分場までメモリを打つてあると。ただ、カタログにはそこまで保証してないという、
2:00:54	いうことなんだけど、当然そこまではかれますっていうには、そのメーカーとしての設計思想があるんですよ。
2:01:01	はい。それに関しては、それを明確にしないと、この業務というのは、
2:01:09	何ていうんすかね。そもそもだってメーカーだけなんで2ヶ月の補助にしてるの。
2:01:15	1010の6乗じゃなくてね、 $2 \times$ の15条にしてるのかって、当然それは後のパルスの。
2:01:23	建設系のパルスの処理処理によって、そのあたりを決めてるわけであつて、そういった設計条件を見れば、どういうパルスが、
2:01:32	見識からね、出してくれば、今言ってるような、2ヶ月の補助っていうのは満足できる。
2:01:38	そういう判断がきく。
2:01:40	わけなんで、要するにその辺の調査も含めて、
2:01:43	説明してもらえれば、必ずしもそのホットでね。
2:01:47	やるということがマストだというふうには、
2:01:50	私は思つて。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:52	現状基本そうですがもう1回ちょっと整理させてください。メーカーと言ってるのは、検出器のメーカーと、それからこの前置増幅器以降の核計装のメーカーの二つがございます。
2:02:04	$2 \times 10^{-5}$ 乗まではかれることをし、保証しているのは、この後ろ側のメーカーです。その時に、
2:02:14	どんなパルス、実際のこういうならかなパルスと、それから電氣的な所に、ピュツとしたパルスと。
2:02:25	あったとしても、
2:02:28	木戸OKの模擬入力系には、電気進行で、電気の模擬パルスを、そんだけ20万、
2:02:40	$1 \times 10^{-5}$ 乗CPFまでレンジを切り換えて入力できますので、
2:02:45	そういうパルスが入ってきたときに、この周増幅器はこう弁別期でちゃんと、その模擬信号を処理して、それで契機として、
2:02:56	1掛ける10の補助CPFまで、荘司するわけですね。それはそのリアリティとして、その模擬入力に対してちゃんと嘘の値になっていますっていうのを示せば、
2:03:07	そしたら、それは譴責の実パルスだろうが、模擬入力だろうが、ちゃんとリアリティがあって、それで $1 \times 10^{-5}$ 乗まで測れるで、
2:03:17	伊澤の話では、さらにそれよりも超えて入力したデータもあるということであれば、それをお示しすれば、
2:03:25	何らかのパルスが来ればちゃんと $2 \times 10^{-5}$ 乗CPSまではかれるということが示せるんじゃないかというふうに理解したんですけれども。
2:03:35	そうですね、ホットでは、
2:03:39	はい。
2:03:41	1%ですが、
2:03:43	今回のケースのパル、
2:03:45	或いは
2:03:46	あるっていうので、
2:03:51	売れるそんなやり方がある。
2:03:53	ない。ない。
2:04:05	ある。
2:04:07	ある。
2:04:14	今、
2:04:22	はい。
2:04:24	はい、原子力もそうです。はい。わかりました。ありがとうございます。そうするとですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:04:29	この前置増幅器移行と、あとその模擬パルスを入れる系統は、もうすでにあって、そこには何の手も今回加えてないわけなんですよね。
2:04:40	なので建設局を緩斜からといってそれ以降の野木パルス形まで含めて何も変わっていないので、
2:04:47	計算する必要ないのかなとは思ったんですけども。
2:04:51	それでも、
2:04:54	止めてあって、
2:04:57	これ。
2:05:04	ここが一番、
2:05:06	わかりました。はい。はい。星委員。
2:05:11	同等性っていう話。
2:05:16	手続きだけ。
2:05:21	すいません書記平ですけど先ほどから三好さん、神谷さんの声が聞こえてなかった。はい。東京で聞こえてたんですけどはい。はい。皆さんの意見は、今までのご主張の通りで、そういったのをちゃんと審査で説明してくれればいいということと理解しましたので。
2:05:40	はい。同等性のことはちょっと、とに掛ける10の五条の話については、それはちょっと同等性が置いておいて、あくまでそういう模擬入力でも何でもいいから、 $2 \times 10^{-5}$ 乗CPSが、
2:05:55	ちゃんとはかれることを説明しなさいってことなので、検出器の効果の話とは置いて検出器は実際届け出て、設工認不要と、受けていただいていますんで。はい。
2:06:07	分けて話すということですね混乱のもとですので。そうです。はい。原子力もそうですが分けて話した上で検出器が同じパルスを出すというね。或いは寸法とかも含めて同等性能であるということはそちらの方で説明して、
2:06:23	はい。はい。はい。はい。CPSの単位変更の話は、それは、模擬入力でもちゃんと表示できているデータがありますことを示せばいいということで理解しました。
2:07:12	A規制庁側、JAさんから他何かございますでしょうか。特になければ、これにて本日は終了したいと思います。
2:07:22	現状基本そうですが、そうしますと、説明の内容がちょっと変わったりするんですけども、この今回お出しした資料。
2:07:32	もう1回修正してお出ししたいと思います。審査会合は9月26日のままでよろしいでしょうか。
2:07:41	変更したものを出してからまた1ヶ月後とかならないかという質問ですけども。
2:07:47	ISAとその時期は変わらずで進めていきたいと思います。はい、赤木高野は承知しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:56	それでは本日はありがとうございました。取りヒアリング終了します。
---------	----------------------------------

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。